

防災フェアinマツダスタジアムを実施

太田川河川事務所
調査設計第一課



太田川河川事務所では、広島カーブ協力のもと、6月22日にマツダスタジアムで防災フェアを開催しました。防災フェアでは、ゲリラ豪雨を体験できる「降雨体験機」や阪神・淡路大震災相当の地震を体験できる「起震車」、浸水時にドアがあかなくなる状態を体験できる「浸水脱出体験機」を展示し、災害時の状況を疑似体験していただきました。

また、球場内のイベント広場では、過去の水害や太田川河川改修の歴史を紹介するパネル展示を行うとともに砂防堰堤が土石流を防ぐ仕組みを体験できる「土石流模型実験」を展示しました。

当日は広島-ヤクルトの試合が14時から開催されましたが、試合開始前や試合中に多くの方に参加いただき、体験コーナーでは述べ450名が、土石流模型実験は300名の方が参加されるとともに、パネル展にも多くの方が来場されました。

また、広島カーブの球団マスコットであるスライリーも飛び入りで参加してくれ、来場者からは一際大きな歓声が上がりました。

オーロラビジョンでPR



事務所防災情報のPR



X-Rainの紹介

体験コーナーの様子



降雨体験の様子



スライリー登場！



地震を体験するスライリー



浸水脱出体験、なかなかドアが開きません

パネル展示コーナーの様子



パネル展示の様子



模型実験の様子



オーロラビジョンでもパネル展示コーナーが紹介されました



スライリー登場！
会場はちょっとしたパニックに!!